

第14回

スポーツシンポジウム



テーマ

「スポーツの持つ力と スポーツのある街仙台を考える」

～市民・ボランティアの力がささえるスポーツ～

日時

11月12日月

18:00～20:30(予定)

会場

せんだいメディアテーク 1F オープンスクエア

参加者 募集

入場無料

参加ご希望の方は、①郵便番号、②住所(聴講券送付先)、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥参加希望人数をご記入の上、はがき、FAX、Eメールにてお申し込みください。折り返し聴講券をお送りします。(応募多数の場合は抽選、聴講券の発送をもって当選発表に代えさせていただきます)

応募方法

応募先

河北新報社営業部
「スポーツシンポジウム」係

11月5日月必着

- ハガキ/〒980-8660 (住所記入不要) FAX/022-227-0923
 Eメール/oubo@po.kahoku.co.jp

※FAX、Eメールでお申し込みの際も「スポーツシンポジウム」係とご明記ください。※ご記入いただいた個人情報聴講券の発送にのみ使用し、発送後に破棄いたします。

問い合わせ

河北新報社営業部/「スポーツシンポジウム」係
TEL:022-211-1413 (平日10:00～17:00)

基調講演

「スポーツが持つ力と地域活性化」

スポーツ庁長官 鈴木 大地 氏



スポーツリレートーク

「海よ、ノーサイドだ。私たちは未来だ。」

東日本大震災からの復興の目標のひとつ、2019年ラグビーW杯招致を実現した釜石市。震災からW杯開催にいたる想いと、釜石とラグビーの関わりについて語る。

浜への料理宿 宝来館 女将 一般社団法人 根浜MIND 代表理事 岩崎 昭子 氏



「スポーツで勇氣と笑顔の共有」

病院の子どもたちにスポーツ観戦をとの思いから始めた病院ビューイングは、医療関係者、クラブ、サポーター、ボランティアの連携で大きく広がっている。その経緯と成果について語る。

新潟県立中央病院内科部長 新潟大学医学部臨床准教授 医学博士 石田 卓士 氏



「スポーツを通じて『する・みる・ささえあう』まちへ」

日本有数のスポーツボランティアのまち・地域となった仙台・宮城。その要因と活動のこれまでとこれから、「支え合う」ことから生まれる可能性について語る。

市民スポーツボランティアSV2004代表理事 泉田 和雄 氏



コーディネーター

仙台大学 教授 池田 敦司 氏

やむを得ない事情等により当日の内容が変更になる場合もございます。